県政映画上映会

～秋田昭和の時代 映像アーカイブ～

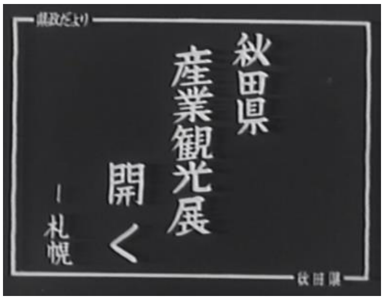
平成28年8月27日(土) 秋田県公文書館 3階 多目的ホール

本日のプログラム 【 1回目上映 11:00～正午 2回目上映 14:00～15:00 】

◆ ごあいさつ

◆ 前 半

① 昭和３１年７月 「県政だよりNo.２」



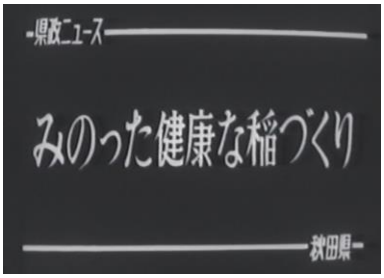
○秋田県産業観光展開く（札幌）
○健康を守るレントゲンカー
○トピックス･･･河野農相八郎潟を視察、鹿島流し(仙北地方)
　砂利採取に新鋭機、ひらけゆく牧野
○明るい社会へ～県警察発足２周年
○全国勤労者陸上競技大会開く(八橋陸上競技場)

② 昭和３２年１月 「県政だよりNo.４」

○知事年頭のあいさつ
○冬の間泊まって勉強（旧由利村）
○トピックス･･･秋田米の批判会（東京）
　除雪にグレーダー活躍、中央病院の病棟完成
○小野選手晴れの郷土入り（秋田市）

◆ 後 半

③ 昭和３９年１０月 「県政ニュース No.61」



○大潟村誕生
○聖火羽後路を行く（東京オリンピック）
○みのった健康な稲づくり（旧角館町）
○ふるさと散歩･･･小又峡

④ 昭和４１年４月 「県政ニュースNo.７６」

○新年度予算決まる
○進む地下資源開発
○若い力･･･柔道少年団（秋田市）

⑤ 昭和４４年７月 「県政ニュースNo.１１５」

○知事鳥海山麓視察
○トピックス･･急ピッチで進む素波里ダム工事
　カメ・ワニ・コーナー新設（男鹿水族館）
　農村婦人の健康相談室開設
○ふるさとの四季･･･南八幡平（乳頭～秋田駒）

～はじめに～

かつて「県政映画」は、「県政だより」「県政ニュース」などの名前で、県内各地の映画館で幕あいに上映され、その時々の県政に関するニュースや各地域の話題などを提供していました。

秋田県公文書館では、これら県政映画を保存し閲覧室で公開していますが、スクリーンに映して大勢でご鑑賞いただく上映会も開催しています。

今回は、オリンピックに関する昭和30年代のニュース映像をはじめ県政各分野の施策や、ふるさとの四季を紹介する５本の作品　を上映します。どれも当時を偲ばせる貴重な映像ばかりです。懐かしい昭和の秋田をぜひご覧ください。

～ナレーション採録～　◇上映作品のナレーションの一部を採録しました◇

① 昭和31年7月　「県政だよりNo.2」

【健康を守るレントゲンカー】

県では結核をなくすためいろいろの対策を立てていますが、レントゲンカーもこうした役目を担って県内をくまなく走っています。私たちは一日レントゲンカーに同乗しましたが、この車は県内各所で健康診断を行う、いわば動く保健所とも言うべきものです。私たちの到着したところは山深い無医村で、部落の人々の健診が行われました。車の中にはレントゲンの撮影装置がありますので、直ちに間接撮影を行うことが出来ます。間接撮影の結果は保健所のお医者さんがよく調べて疑いのある人は再び精密検査を受けることになります。こうして２台のレントゲンカーは私たち県民の健康を守るため、今日もまた町や村を走って行きます

【明るい社会へ　県警察発足2周年】

最近の犯罪は集団あるいは交通機関を利用するなど広い地域に渡って行われています。県警察では能率を高めるため組織を改めましたが、特に機動力を強化し犯罪を早く解決して社会の不安を除くよう努力しています。また、警察通信も着々整備され専用電話は全国各地に張り巡らされすぐ連絡がつきます。さらに、不便な場所で使うハンディトーキー、犯人の人相写真を送る電送写真などがあります。中でも威力のあるのは超短波無線を積んで走るパトロールカーです。「秋田１０１から秋田５０‥‥ただいま現場に到着しました。被害者は年齢３５～６歳、丈５尺２～３寸‥‥」。一般の方々が押し売りなどで困る場合、警察にお知らせがあると直ちに出動します。しかしこの車は犯人を捕まえるばかりではありません。水害地や火災現場の警戒・救助にあたり、普段でも急病人やけが人の救護に尽くしています。こうして県警察は明るい社会をつくるために夜となく昼となく活動を続けています。

② 昭和32年1月　「県政だよりNo.4」

【 小野選手晴れの郷土入り(秋田市) 】

　メルボルンオリンピックで優勝した小野選手は、１２月１７日夜、歓迎のうずまく秋田駅に到着。この日は、小野選手のほかに、メルボルン日本体操選手団も来県しました。なかでも、本県の生んだ金メダル獲得者、小野選手に寄せる郷土の喜びは大きく、県庁を訪れた小野選手に知事からお祝いの記念品が贈られました。

　次いで待望の公開演技は、満員の観衆で埋まった秋田市山王体育館で開催。まず胸に日の丸、揃いのブレザーコートで入場した選手団に、県と市からそれぞれ歓迎の花束が贈られました。かくて、豪快華麗な演技が繰り広げられましたが、まず小野選手の平行棒の妙技。竹本選手得意の吊環（つり輪）。女子池田選手による段違い平行棒。同じく女子関選手の平均台。さらにあん馬における小野選手の完璧な演技。最後は金メダルに輝く小野選手の独壇場、鉄棒。

　かくて公開演技はメルボルンオリンピックの感激を秋田に再現、盛会のうちに幕を閉じました。

③ 昭和39年10月　「県政ニュース　No.61」

【 大潟村誕生 】

　琵琶湖に次ぐ我が国第２の湖、八郎潟も干拓工事が始まってから７年、満々と水を湛えた昔の面影は消えて、中央干拓地の３分の１にあたる約６,０００ヘクタールが湖底を現しました。県では、干陸によって新しく生まれる村を大潟村と名付け、１０月１日から発足することなどについて臨時県会にはかりました。

　かくて９月１５日、八郎潟干陸と大潟村の誕生を祝う記念式典が、総合中心地で赤城農林大臣、オランダのヤンセン教授など関係者約１,３００人が参列して行われました。厳かな神事に引き続き、八郎潟干拓の父ヤンセン教授に赤城農林大臣から勲三等瑞宝章が贈られ、その功績を称えました。世紀の大事業を記念して、６００本の黒松が新しい大地に植えられましたが、かつてこの湖で魚を捕って生活していたという老人も、その家族も感慨深げに植樹していました。この日、記念式に協賛して中央堤防を一周する駅伝競走、東北高校選抜相撲選手権大会、東部承水路では、県体のボート競技なども開かれました。うたせ船、氷下(こおりした)漁業の風物で知られた魚の宝庫八郎潟は、年間６３,０００トンの米を生産する大潟村として誕生し、日本農業のユートピアが築かれようとしています。

【 聖火羽後路を行く 】

　東京オリンピックの開幕を目前に控え、聖火リレーの通る秋田市など関係市町村では、沿道をきれいにして聖火を迎えようと清掃に励みました。オリンピック発祥の地、ギリシャで採火されてからひと月経った９月２２日、矢立峠を越えて待望の聖火が秋田に入りました。県内６市２２町村を結ぶ国道２８０キロを、約４,４００人の若人によってリレーされていくのです。本県入りして３日目、秋田北高校 田渕ふじきさんに掲げられた聖火が県庁に到着しました。人見実行委員長に渡された鮮やかなオレンジの火が聖火台に移され、盛大な歓迎会が行われます。２５日再びリレーが開始され、聖火は県都を後に快い秋晴れの羽後路を一路東京を目差して南下したのです。

④ 昭和41年4月　「県政ニュースNo.76」

【 進む地下資源開発 】

県では、新産都市の建設を目指して工業の原動力となる石油・天然ガスの開発に力を入れています。八橋油田の全盛時代は、全国一を誇っていた本県の石油・天然ガスの生産は昭和３７年を境に不振になり心配されましたが、男鹿琴浜地区に橋本油田・福米沢油田といった一級油田が発見され、やっとその生産に回復の兆しがみえはじめました。これまで有望視されていた八郎潟地域の大潟村でも、このほど初めて本格的なボーリングが行われました。この干陸地周辺には、すでに物理探鉱で石油があるとみられる層が確認されているだけに今後のボーリングに望みが託されています。

福米沢油田は県が開発した油田で、今、日産１５０キロリットルの生産をあげています。また、申川油田は日産２５０キロリットルの生産をあげ、ここには福米沢油田から送られる石油の集油所も設けられています。こうして申川、福米沢、橋本油田など八郎潟地域からは今、県全体の７割の石油が生産されています。―（中略）―　県では、新産都市建設に必要な石油・天然ガスを確保するために今年から５カ年計画で探査を行うことになりました。計画では探鉱資金９４億円を投じて１４７本のボーリングを行いますが、八郎潟地域を中心とした今後の開発に大きな期待が寄せられています。

⑤ 昭和44年7月　「県政ニュースNo.115」

【 知事鳥海山麓視察 】

秋田富士と呼ばれる霊峰鳥海山、その足元に仁賀保平野が広がっています。知事は6月８日佐藤本荘市長ら地元町村長の案内で鳥海山麓地域開発に関する現地視察を行いました。 知事の現地視察は昨年１１月に次いで２度目ですが、鳥海山麓の開発基本計画はすでに出来上がり、今度の視察はどの事業から手をつけるかに重点が置かれています。

前日由利町での移動県庁を終えた一行は、午前７時に宿舎を出発、百(もも)宅(やけ)ダムの予定地を皮切りに鳥海、矢島、東由利原、屋敷、仁賀保牧場を視察しました。九州阿蘇の大草原をしのぐ由利原の草原地帯。この由利原一帯、仁賀保高原、西目孫七山に酪農と観光を結びつけた道路を造り仁賀保牧場を中心に ４,０００ヘクタールの高原を草地化し乳牛肉牛を２万５,０００頭までに増やして文字通り酪農のメッカにする計画です。そしてこの由利原の一角に心身障害者のコロニーが建設されることになり、近くその場所も決まるなど、今、鳥海の山麓は新しい夜明けを迎えようとしています。

～ご来場ありがとうございました。次は11月3日（文化の日）に開催します。～

どなたでも「県政映画」をビデオルームで閲覧できます。詳しくは公文書館カウンターまで！

「石油王国秋田」を振り返って見ませんか？

平成28年度企画展　**公文書で見る秋田の石油開発　～「石油王国秋田」誕生ものがたり～**

2階特別展示室で好評開催中です！　どうぞお気軽にお立ち寄りください。

■秋田県公文書館■
〒010-0952　秋田市山王新町１４－３１
TEL　018-866-8301FAX　018-866-8303
URL http://www.pref.akita.lg.jp/kobunsyo/